

令和2年12月9日(水)に開催した令和2年度第3回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) 令和2年度 収支補正予算(案)について

ア 趣旨

事務局から7月に実施した補正予算以降に生じた事情変化を反映させるため、現時点の年間執行見込額に基づき、現予算額が不足する見込の事業の増額を行う一方、現予算額に執行残が生じる見込の事業について減額を行う結果、40,287千円の減額補正となる旨の説明があった。

イ 主な質問・意見

・今回の補正予算では、就職支援事業が減額となっている。コロナ禍の中、最近の本学学生の就職状況及び今後の支援の方策について考え方を伺いたい。

→ 12月8日時点の内定率は72.3%、前年比-15.6ポイントで、これはリーマン・ショック後に次ぐ程度の非常に厳しい数値である。

4年生の支援については、緊急事態宣言直後からオンラインでの相談を行っている。企業の面接のオンライン化に合わせ、面接練習もオンラインで実施した。電話掛けを4回実施し、状況の把握と個別の支援を行っている。

3年生については、後期より対面でのガイダンスを開始した。2、3月に予定している模擬面接講座は、対面とオンラインの2種類を用意し、いずれの練習もできるようにする。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、承認され、役員会に付託された。

(2) 令和3年度 予算編成基本方針(案)

ア 趣旨

事務局から、令和3年度の予算編成基本方針について説明があった。

イ 主な質問・意見

・本学にとって重要なテーマであるグローバル教育の推進について、今後どのように推進していく考えなのか。

→ オンラインによる語学研修、さらにオンラインでの語学研修の履修者に支援金として1人3万円を支給する制度を設ける。

現在の英語・中国語教育センターの場所をより学生のアクセスのよい場所に移転し、次年度は同センターを多文化・多言語教育研究センターに名称も内容も拡大した形で開設する計画を立てている。地域の外国人の方々への日本語教育等も展開する計画になっている。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、承認され、役員会に付託された。

2 報告事項

(1) 報告事項1 受託事業について

事務局から、9月に役員会で承認された「三ヶ日みかんイメージキャラクター『みかちゃん』LINEスタンプデザイン作成業務委託」について、本学学生がデザインしたLINEスタンプが紹介された。

(2) 報告事項2 静岡県文化プログラム「先端技術展―技人(わざびと)たちの物語―」開催について

事務局から、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに連動して開催されている静岡県文化プログラムにおける県域プログラムの一環として実施される「先端技術展」の開催について説明があった。

以上